

村のぱん屋・SUN だより

第1号



2005年 8月

NPO法人 村のぱん屋・SUN
〒871-0904
築上郡新吉富村安雲1番地1
TEL・FAX0979-72-1615

村のぱん屋・SUNは、社会のさまざまな壁によって行き場を確保し難い人達の働く場所、ふれあいの場所、憩いの場所になることを目指して、平成13年4月にスタートしました。

新吉富村社会福祉協議会を通して、「JA跡地でパン屋をやらないか」と声をかけられました。私はパン職人でもないし、商売の経験もない。長い間、行き場も仲間もない子どもの辛さを、共に味わいながら、親子でパンをつくってきた私にとっては願ってもないことでした。しかし、公共の施設を使う以上、中身は公共のものでなければなりません。パン職人と商売と福祉を公共のものとしてやるのが、どれ程大変なものかは想像できます。それでも「やろう」と決心した時には、身の震えが止まらなかったのを思い出します。

NPO法人設立は、2年後の平成15年8月。病院、福祉施設のスタッフの人達の御意見を伺いながらの運営によりやく実質がともなうようになってきました。

仕事をして自立したい。でも、社会のペースにはついていけないという利用者の方々の毎日のかかわりの中で、作業所でもなく、授産施設でもない、**健常者と障がい者が共に働く場**ができました。

この4年余り、地域の方々の暖かい見守りやお客様の励ましに、工房で働く皆が支えられてきました。本当に有難いと思います。そして、自立を目指してパン屋で働く人達、ボランティアの人達に私は力をもらっています。

今後とも御支援下さいますようお願い申し上げます。



村のぱん屋・SUNはこんなところです。

障がいの種類は

身体障がい、知的障がい、精神障がいの3つに分けられています。この3つの障がいに位置付けられずに苦しんでいる人もいます。

村のぱん屋・SUNでは、障がい者手帳の有無にかかわらず受け入れています。

販売の種類は

店舗販売・・・朝7:30から焼きたてを販売しています。

予約配達・・・高齢者施設、福祉施設、保育園などに配達しています。

委託販売・・・道の駅、JAふれあい市などにおいてもらっています。

外販・・・げんきの杜などに出向いて販売しています。

村のぱん屋・SUNで働いている人達は今

() 内は、働いた年数

利用者	9名
パート	3名
ボランティア	8名

平成17年
8月現在
登録者数

利用者 前田和幸（4年）

村のぱん屋・SUNに行き始めてから、最初は目標など何もなかったけど、最近なんとなく働きに来てよかったなと思うことがある。年を数えてみると、もう50才を過ぎているのだ。20才から今まで、30才・40才の年代はあっというまに過ぎてしまった。自分にはいつきたかもわからない。

今は、新しく友達が多くなるにつれて、自分の心の中をわかってもらえる人ができるようになった。また、身体がじょうぶになった。

ボランティア 前田美津恵（4年）

こんにちは！ 配達・販売をしています。行く所々での多くの方々との出会いを楽しんでいます。げんきの杜にも金曜日11時から12時までの短い時間ですが、販売に行っています。その時間にげんきの杜にお寄りの方は、ぜひ私達にも顔をお見せ下さい。W前田が、笑顔でお待ちしております。



パート 上野美千代（1年）

不器用な私が、パン作りが出来るだろうかと戸惑いや不安を感じながら一年が過ぎました。自分なりに反省したり悩んだりしてきましたが、ボランティアの方やお客様と触れ合いながらの作業で毎日がとても充実しています。自分で出来る範囲の責任を果たすことが自信につながり、今後いろいろな人たちと手をつなぎ、チャレンジ精神と夢への実現に向って行きたいと思います。これからもよろしくお願い致します。

商品の紹介

現在、パン40種類、クッキー15種類を作っています。毎回少しずつ紹介していきたいと思います。

メロンパン

当店のパン人気No.1。メロン皮を生地に1ケずつかぶせます。ふくらんでいくうちに表面に自然にきれつが入り、メロンパンらしくなります。外はさくっ、中はしっとり、仕上がっています。毎日毎日メロン皮をつくる人、その皮を使ってメロンパンをつくる人がいて、力を合わせてつくっています。

木の葉

当店のクッキー人気No.1。混ぜ合わせた材料を1枚の分量ずつ天板に間隔をあけて落としていきます。それをフォークなどなるべく平らになるようにのばし、焦がさないように焼き上げます。甘みの利いた、ココナッツ風味のパリパリクッキーです。平らにのばす毎日の作業にフォークを持つ手にたこができてしまいました。

